

日時:平成 28 年 12 月 27 日 15:30～

場所:駅北庁舎 4 階災害対策本部室

第3回多治見市地域情報化推進懇談会 会議録

鈴木部長：＜挨拶＞

1 第2回会議録の確認

(事務局説明)

会長：何か意見はありますか。

委員：6 頁の発言中誤字がありますので修正をお願いします。

事務局：対応します。

会長：以上で議事録として確定します。

2 基本方針と基本施策について

(事務局説明)

会長：何か意見はありますか。

委員：異議なし。

会長：基本方針と基本施策はこれで確定とします。

3 取り組むべき課題について

(事務局説明)

会長：私からになるが、デジタルデバイドの必要性が薄れ、情報のバリアフリーという表現になったと思いますが、ユニバーサルデザインという表現も一つ考えられます。この点はどのようにお考えですか。言葉の整理については今後考えてもよいかと思います。また、避難所の環境整備について、学校への Wi-Fi 設置のニュースが先日ありました。これらについてはどのように考えていますか。

事務局：学校への Wi-Fi 設置は推進したいと考えています。これまで、市長部局としては、学校の情報化の取組みに積極的には関与してきませんでした。避難所としての整備も求められ

ており、合せて考えていく方針です。防災面での整備については、総務省が補助金を用意しており、通常時と緊急時でセキュリティレベルの切り替えができる製品もあるようなので、検討していきます。

事務局 : バリアフリーの件ですが、ご指摘のユニバーサルデザインの表現も検討しました。しかし、例えば声の広報などはユニバーサルではありませんのでバリアフリーの文言を選択しました。

会長 : その判断で問題ないと考えます。

会長 : 職員の研修とありますが、資格取得の研修については考えられていますか。

事務局 : 市の政策として、資格取得を制度として推奨しているものは必置のもの程度です。それ以外は各自の努力となっている状況です。PCスキルなどについては、各種の研修が用意されていますが、活用されておらず、案内が必要だと考えています。想定としては、情報処理技術者試験ではなく、PCスキルの向上、例えばMO Sの取得などを推奨していきたいと考えていますが、職員が知らないケースも多々考えられるため、情報収集と情報提供を行っていききたいと考えています。

委員 : G to Cの取組みで、住民票の自動発行機が使われなかった原因は分析されていますか。

事務局 : 当時に評価をしていると思われませんが、資料が手元にありません。推察すると、カードが必要である等の理由も考えられますが、そもそも住民票の取得だけが目的で、対面の相談が必要でないお客様は少ないのではないのでしょうか。なお、現状、住民票を取得するだけであれば、予約すれば消防署で夜間でも交付できます。

会長 : 大学であると、学割証が発行機で簡単に取得できるが、住民票のような頻繁に取得しないようなものは、わざわざ操作を覚えてまでするニーズが無かったのではないかと考えられます。端末では細かいことまで教わることはできませんので。

事務局 : マイナンバーが進むと、さらにニーズが減る可能性があります。今まで各種の申請に伴い住民票などが必要だったものがいらなくなる場面が出てくるため、発行機の必要性がさらに少なくなるのではないのでしょうか。

会長 : マイナンバーは重要であるという報道が強すぎたため、あまりに秘匿性が高くなり、持ち歩くケースが少なくなってしまったのは課題です。

4 実施施策について

(事務局説明)

会長 : 表記のぶれがあるので修正いただきたいと思います。その他、何かご意見がありますか。

(1) にぎわいと活力を創出する情報化

委員 : 少なくとも1種類のSNSを選ぶとありますが、できれば複数のほうがよいと感じます。

また、産業観光に関してはSNSがこれからということですが、産業観光分野こそSNSが効果的であると思います。スタートが遅れている理由などはありますか。

事務局 : SNSは複数あればよいと考え、最低限1種類と記載しています。現状はフェイスブックのみ運用しています。秘書広報ではフェイスブックを運用しているほか、インスタグラムの活用を検討しています。特定の名称を挙げると縛られてしまうので、あいまいな表現としています。産業観光分野については、特に理由は把握していませんが、イベント等の業務が多く、SNS等の取組みに着手できないのかと推察します。横の連携の方策も検討しなければならぬと考えます。

会長 : 目指す成果の表現であるが、「目指す姿」という表現のほうが適切なのではないかと感じますので検討してください。また、SNSの種類という表現についても「1種類」ではなく「一つ」という表現のほうが誤解が無いと考えます。

委員 : 全体や33ページについて、実施しているものとまだ実施できていないものの一覧が整理できていると良いと思います。(6)の件も次はどこに着手するか等、可能な限り具体性を持たせることができないでしょうか。何をいつまでにという視点で整理できると良いと思います。数字や時間、場所等の記載があるほど、具体的な動きに繋がると感じます。

会長 : ロードマップのイメージだと思われるがどうでしょうか。年度単位での取組み状況の評価もできると考えます。

事務局 : 本表について、現状の状況の記載欄を設け、今の状態は分かるようにする予定です。ご指摘のとおり、各年で何をするのか明記することは必要ですが、協力先などとの関係もあり場所や時期などを明記することが難しい件もあります。

委員 : 先日、対話集会報告書を読み、「人気がある店の情報発信をしてほしい」という意見がありました。市の情報発信としてどこまで許されるものでしょうか。

事務局 : 産業観光政策としてどのように考えるかによります。個々の商店や事業所等の紹介やPRなどを行っている実績もあります。産業観光政策として進めていくにあたり、情報政策として反対することはありません。

会長 : 例えばボランティアの方々が発信するなど考えられます。まちの情報発信のとりまとめをしてくれるIT講座等が(10)に取り込めると良いと思います。

事務局 : 一般的なICT講座については、学習館で市民講座が開催されており、教える側・教わる側も市民という取組みを実施しています。

会長 : そのような機会に、市の意向を反映できると良いと感じます。

事務局 : 産業観光のためにICTを使う等については支援できるが、具体的な内容までは情報化計画に位置づけるのは難しいと考えます。

委員 : 産業観光課のSNSについて、ぜひツイッターを検討いただきたいと思います。拡散力が高いため、効果が高いと感じます。

事務局 : 関連部署に求めていきます。

委員 : SNSの言葉が多く、SNSに頼るという印象があります。SNSで上げた情報の拡散方法等を盛り込めるとよいと感じます。今は情報を上げても見てもらえないケースが多いです。どのように見ていただくかを考えることは重要になります。

会長 : メディアミックスの視点で、様々な資源の活用が必要となると考えます。

(2) 安全・安心に寄与する情報化

委員 : 特になし。

(3) 情報化による行政運営の効率化

委員 : (マイナンバー関連の) セキュリティ強化策により、セキュリティレベルが上がったということでした。例えば自分の個人PCへのメール転送などを防ぐことはできますか。人的なうっかりミスをどのように防ぐかを考えると暗号化しかないと考えます。そこまで踏み込んでいる状況でしょうか。

事務局 : 暗号化は実施することを予定しています。なお、窓口と事務PCは完全に分かれており、窓口PCではUSB等の外部記憶媒体は認識しません。また、承認されていないPCの接続の拒否など、様々な取り組みを実施しています。

会長 : セキュリティが厳しくなると仕事がやりづらくなりますが、対策を取っていることを各職員が自覚することが重要です。

委員 : 施策とは異なりますが、図表14については、白黒の場合でも見やすくするように配慮いただきたいです。

事務局 : 対応します。

会長 : 本日の議事は以上とします。